

2010.2.22(月)

徳島新聞

アレルギーに
理解を深める 德島市

フォーラムに40人

徳島アレルギーフォー

ラム2010（日本アレルギー協会四国支部主催）が21日、徳島市内の徳島東急インであり、患者ら約40人が病気への知識を深めた。

県内の病院に勤務する小児科、内科、耳鼻咽喉科、眼科の医師4人が、それぞれの立場からアレ

ルギーの特徴を解説した。徳島大学病院呼吸器・膠原病内科の吾妻雅彦講師はぜんそくを取り上げ、主な治療薬として吸入テロイド剤を紹介。

「症状に合わせて薬の量を考え、しばらく発作がなく症状が落ち着いている時も投薬を続けることが大切」と強調した。アレルギーが少ないメロン栽培に取り組む阿波農業高校（阿波市土成町）の生徒の発表もあった。